

令和7年度 衆議院海外派遣 報告書概要

令和7年9月17日

1. 団名

衆議院ポーランド及び英国における安全保障政策等調査議員団

2. 目的

ポーランド及び英国における安全保障政策等の実情調査のため

3. 派遣議員団

団長	安全保障委員会	委員長	遠 藤	敬（維新）
	安全保障委員会	理 事	篠 原	豪（立憲）

同行	委員部第四課課長補佐	伊 藤 義 人
----	------------	---------

4. 派遣期間

令和7年8月30日（土）から9月5日（金）までの7日間

5. 派遣国

ポーランド、英国

6. 主な調査内容

（1）ポーランド

- ①ポーランド国防省を訪問し、レヒ・ドラブ軍外務局局長から、ポーランドの安全保障政策の現状等について説明を聴取し、意見交換を行った。

②ポーランド下院国防委員会を訪問し、アンジェイ・シェウインスキ副委員長と、日本とポーランドの対ロシア政策の状況、議員間交流の更なる促進等について、意見交換を行った。

③アウシュビッツ・ビルケナウ博物館を訪問し、強制収容所の跡地を視察しつつ、ガイドから当時の状況について説明を受けた。

(2) 英国

①英国下院国防委員会を訪問し、タン・デシー委員長と、日英伊三か国による次期戦闘機の共同開発に係る「グローバル戦闘航空プログラム (GCAP)」(以下「GCAP」という。)の重要性の再確認と更なる連携強化に向けた取組、ロシアのウクライナ侵略への対応及びインド太平洋地域の安定に向けた日英協力の在り方等について、意見交換を行った。

②英国の防衛産業 BAE システムズ社のウォートン工場を訪問し、同社の業務概要、「GCAP」の進捗状況等について説明を聴取した後、工場内の視察を行った。

③英国国防省を訪問し、バーノン・コーカー閣外大臣と、インド太平洋地域の安定に向けた日英協力の在り方、今後の中国との向き合い方等について、意見交換を行った。

④「GCAP」を一元的に管理・運営する国際機関である GIG0 (GCAP 政府間機関) 本部を訪問し、関係者から組織の運営状況、「GCAP」の進捗状況等について説明を聴取した後、意見交換を行った。

(注) 報告書概要は、速報性を重視した概要版として作成・掲載しているものです。詳細な内容については報告書を御参照ください。